

夏休みに、高校訪問・体験入学に行こう

夏休みには、ほぼすべての学校で《高校説明会》や《体験入学》が行われます。受験生にとって、《高校訪問》は志望校選択の重要なポイントです。自分の足でその高校まで行き、自分の目で直接高校を見、高校の先生から直接話を聞ける良い機会です。多くの先輩たちも、受験校の決定に夏の高校訪問が役立ったと語っています。

また、高校訪問後に、受験の近づいていることが実感できたり、目標校が決まってきたりすることで、勉強へのモチベーション（やる気）も格段と高まります。ぜひ、しっかり行って来てください。

☆見るポイント

学校の雰囲気、生徒の様子、授業内容や学校行事、施設・設備、進路指導・進路実績・大学進学率、部活動、通学方法・通学時間、制服、などなど、たくさんの情報を手に入れることができます。また、入試のポイントや推薦条件、その高校の望む生徒像などを知ることができます。

ともかく、肌で感じる印象〔フィーリング〕は、志望校を決める上で、結構大切なものです。

☆選ぶときの注意

進路は人それぞれ、みな異なります。志望校を自分で選ぶのと同様、高校訪問先も自分で決定しましょう。

友達関係で選んだりしないように。付き添って行ったり、友達を誘ったりすることがないように。

自分の学力とも相談してください。「目標校」を見てくることで、発奮する材料となればよいですが、あまりに学力とかけ離れた高校を見てきてしまい、いつまでも夢を追いかけるばかりになって困ります。また、一校は今の自分の学力にあった高校を見てくると良いでしょう。

★申し込み方

事前に申し込みが必要な学校と、不要な学校（当日直接行けばOK）があります。

また、学校を通じて申し込む高校と、個人で申し込む学校があります。公立高校の多くは学校を通じての申し込みが必要です。また、私立高校の多くは個人申し込みです。申し込み期日は厳守してください。

学校では、皆さんの行く高校を知っておきたいので、申し込み要・不要に関わらず、高校訪問に行く学校については「体験入学・学校説明会参加申込書」を提出してください。

☆諸注意

高校訪問は入試や面接と同じだと思ってください

- ・服装：制服、きちんとした身なりで行くこと。高校側から良い印象をもたれるように。
リボンの結び方や靴下、バックのアクセサリ類にも注意する。
- ・持ち物：上履き・筆記用具・学校見学記録用紙（学校から配布します） 靴を入れる袋、交通費
[部活動体験をする場合には、その体験に必要な道具類]
*靴下や、バックのアクセサリ類にも気をつけること。
- ・態度・挨拶：きちんとする。特に話を聞く態度、姿勢もしっかりするように。寝ない！
- ・行き方・場所・電話番号の確認をしておくこと：当日の遅刻は厳禁です。
 - ・学校を通じて申し込みをした高校の説明会等を、当日、やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、高校へ欠席連絡をすること。

●2学期始業式の日、高校レポート(学校見学・体験入学の記録)を提出します。